

道路委員会だより

1. ごあいさつ

道路委員長 小川 利治

皆様におかれましては、平素より道路委員会活動に対して、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度の活動におきましては、36社247名もの会員の皆様にご参加いただき、委員会活動が実りあるものとなりましたことを、委員を代表して感謝申し上げます。また、道路委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、各委員会活動や企画の実現にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年度に引き続き、今年度も道路委員会では、「維持管理」「防災」「交通」「i-Construction」などをキーワードに多岐にわたる活動を展開してまいりました。特に、基調講演、技術講習会、講師派遣をはじめとした対外活動など、委員一同、議論を重ねて企画・運営にあたってまいりました。これらの活動を通じて得られた知見や成果は、道路インフラの未来を担う私たち建設コンサルタントの責務を果たすうえで、大変重要なものであると考えております。今後も委員会の活動が、会員の皆様の技術交流と情報交換の場となり、建設コンサルタントの地位向上、業界の発展ひいては社会貢献に繋がるよう、今後一層尽力してまいります。

このたび、今年度の道路委員会の活動内容を「道路委員会だより」としてとりまとめました。本委員会だよりが、皆様にとって当委員会の活動をご理解いただく一助となれば幸いです。

来年度も引き続き、皆様の期待に応えるべく活動してまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

令和7年度 道路委員会委員名簿

名称	所属	氏名
委員長	中央コンサルタンツ(株)	小川 利治
副委員長	日本工営都市空間(株)	阿部 光伸
副委員長	八千代エンジニアリング(株)	石丸 健次
委員	大日本ダイヤコンサルタント(株)	中根 成郎
〃	中日本建設コンサルタント(株)	高羽 俊光
〃	(株)興栄コンサルタント	畑佐 陽祐
〃	協和設計(株)	糸 敏行
〃	中部復建(株)	中安 博之
〃	(株)長大	小林 圭
〃	パシフィックコンサルタンツ(株)	山田 邦博
〃	大日コンサルタント(株)	谷村 解
〃	(株)フジヤマ	勝木 俊介
〃	サンコーコンサルタント(株)	雪田 真吾
〃	(株)建設技術研究所	中西 哲也
〃	(株)ユニオン	豊田 政幸
〃	セントラルコンサルタント(株)	松岡 寿章
〃	日本工営(株)	亀井 陽平
〃	(株)エイト日本技術開発	石川 信二郎
〃	(株)オリエンタルコンサルタンツ	藤岡 亮文
〃	(株)東京建設コンサルタント	手塚 大介

2. 活動報告

道路委員会では、講習会・見学会・講師派遣等の技術交流を通じて、道路関連事業に従事する技術者の技術力の向上を図るとともに、建設コンサルタントフェア等を通じて建設コンサルタントの役割が広く理解されていくことを目的として活動しています。

なお、令和7年度の道路委員会へは、36社247名（昨年度：33社230名）のご登録をいただきました。

以下に令和7年度の主な活動についてご報告します。

(1) 定例委員会の開催

上半期は、4月から12月の間に9回開催し（月1回開催、対面+Web併用）、総会、技術講習会、現場見学会、業務技術発表会、講師派遣の企画・運営、発注者との意見交換会について議論しました。

(2) 令和7年度道路委員会総会

令和7年7月に、令和7年度道路検討グループ総会を開催するとともに、豊橋技術科学大学の松本幸二郎准教授に特別講演をいただきました。

開催日時：令和7年7月10日(木)

14:30～16:30

開催場所：今池ガスビル

ダイヤモンドルーム

参加者：25社83名

内容：①令和6年度活動報告

②令和7年度活動方針



総会の様子

【特別講演】

「多様なデータを活用した

交通安全マネジメントに関する取り組み」

講師：豊橋技術科学大学

建築・都市システム学系

松尾 幸二郎 准教授



松尾准教授による講演の様子

特別講演では、豊橋技術科学大学の松本幸二郎准教授より、「多様なデータを活用した交通

安全マネジメントに関する取り組み」と題してご講演いただきました。

先生は、交通現象・交通行動を科学的に捉え、人々の安全・安心・便利・快適な移動を支える地域交通システムのあり方とその実現方策を追求するための研究に取り組まれています。

本講演では、豊橋市の通学路交通安全プログラム策定の取り組みや、先進プローブデータの活用事例、豊田市路面電車に関する研究成果が紹介されました。

【アンケート結果】

会員企業の皆様にとって、より意義のある活動を推進していくため、総会参加者を対象にアンケートを実施いたしました。

その結果、多くの皆様から貴重なご回答を頂戴し、心より御礼申し上げます。

いただいたご意見を参考に、今後の道路検討グループの活動内容の充実と改善に努めてまいります。

- 技術講習会の講演希望
 - ✓ 3次元モデル、BIM/CIM
 - ✓ AI 関連
 - ✓ 防災関連、道路防災、維持管理
 - ✓ 自動運転の取組
 - ✓ LOOP 等の電動キックボードについて
- 現場見学会場所の希望
 - ✓ ICT 施工
 - ✓ ラウンドアバウト
 - ✓ スマートインターチェンジ
 - ✓ 自転車専用通行帯を整備した交差点
- 道路検討グループ活動への希望
 - ✓ 基準改訂（最新基準の対応、講習会）
 - ✓ 自転車通行空間
 - ✓ 技術者の育成方法、技術伝承
 - ✓ BIM/CIM 研修
- 講演内容について意見・感想
 - ✓ プローブデータの活用例や路面電車の安全性向上に向けた取り組みについて理解を深める貴重な機会となりました。
 - ✓ 初めての参加で、GISSの活用可能性への理解を深めることができました。データは背景や出どころを踏まえて慎重に扱う重要性が印象に残る講演で、専門外でも分かりやすい内容でした。

- ✓ 道路交通分野の基調講演は初めての聴講で、特に通学路の交通安全に関する内容が印象に残りました。ヒヤリハットマップは情報の精度に限界があるものの、子どもの入力を通じて通行実態を把握する指標となり得る点に示唆を得ました。
- ✓ 通学路の危険を予防する取り組みがここまでデータ化されている点に驚きました。紙媒体ではなくデータで管理することで、効率的かつ確実な運用が可能となると感じ、今後の展開に期待しています。
- ✓ 交通計画の最新動向や計画検討手法について学ぶことができました。特に、軌道敷の乗降者を考慮して信号時間を調整する事例は新しい視点で、大変参考になりました。

(3) 技術講習会

令和7年9月には、国土技術政策総合研究所の研究員をお招きし、技術講習会を実施しました。

開催日時：令和7年9月3日(木)

14:00～16:30

開催場所：TeamsによるWeb配信

参加者：40社277名

内容：

「良好な道路環境の創造にむけて」

(国土技術政策総合研究所 出前講座)

講師：国土技術政策総合研究所

道路交通研究部

道路環境研究室

大河内 恵子 主任研究官

長濱 庸介 主任研究官

根津 佳樹 主任研究官



講師による講演の様子

技術講習会では、国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室より3名の講師をお招きし、大河内氏より「道路事業における動物、植物、生態系に対する環境保全措置の実施状況の分析」、長濱氏より「道路空間におけるグリーンインフラの取組」、根津氏より「次世代自動車の普及を見据えた走行時の二酸化炭素排出量の把握」と題してそれぞれご講演いただきました。

大河内氏からは、道路事業における環境保全措置の実施状況や環境影響評価についての解説があり、道路整備による自然環境への影響を正しく評価し、可能な限り影響を抑えることの重要性が示唆されました。

長濱氏からは、国土交通省による道路空間におけるグリーンインフラの取組みの紹介がありました。また、地域住民等と連携してグリーンインフラを実践する際のポイントについて、参考事例とともに解説がありました。

根津氏からは、自動車走行時の二酸化炭素排出量について、次世代自動車の普及を見据えて、これまでの算出方法の課題に対応した新たな算出方法を検討する取組みが紹介されました。また、道路分野におけるカーボンニュートラルの推進に向け、車両性能や走行環境の変化に応じた正確な二酸化炭素排出量の把握が重要であることが示唆されました。

【アンケート結果】

技術講習会后、参加者を対象にアンケートを実施いたしました。

多くの皆様から貴重なご回答を頂戴し、心より御礼申し上げます。

いただいたご意見を参考に、今後の技術講習会の充実と改善に努めてまいります。

● 講習会についての感想

- ✓ 最近では「ネイチャーポジティブ」がプロポーザル案件の評価テーマになるなど、道路設計に配慮すべき着目点であることから、今回の3講演はとても参考となりました。特に「道路事業における動物、植物、生態系に対する環境保全措置の実施状況の分析」では一国総研資料第1319号「環境保全のための取り組みに関する事例集」の公表に

あたっての説明もあり、具体的な取り組み事例を確認できたため、有意義でした。

- ✓ グリーンインフラについて特に印象に残ったのは、道路緑化の維持管理において沿道住民や地域団体との連携が不可欠である点です。従来は緑化や雨水処理を行政が主体的に担うものと考えていましたが、地域との協働によってこそ持続可能性が確保されるという視点は新鮮でした。
- ✓ 建設コンサルタントとして必要不可欠となるグリーンインフラ、カーボンニュートラル等について、現状と最新の技術や課題等を学ぶ貴重な機会となりました。特に、車種別の二酸化炭素排出係数の公表は、自動車利用者による意識改革にもつながると考えられるため、重要な課題であると考えます。

(4) 講師派遣

道路委員会では、行政（自治体）向けに講師派遣を行い、人手不足や技術力不足による若手技術者の人材育成への協力を行っています。

- 1) 愛知県建設技術研修・道路計画実務講座
・道路計画・設計実務講座 (5 講座、5 名)
- 2) 愛知県建設技術研修・設計エラー防止講座
・道路/トンネル (1 講座、1 名)
- 3) 愛知県建設技術研修・土木施工技術講座
・盛土・切土設計と法面安定(1 講座、1 名)
- 4) 三重県建設技術研修
・道路排水計画 (1 講座、1 名)
・道路構造令の解説と演習(1 講座、1 名)

(5) 現場見学会

例年、中部地整管内での現場見学会を実施していますが、令和7年度は諸事情により開催中止となりました。引き続き、来年度以降に、現場見学会メニューや機械化施工の現場など、中部地方で行われている土工事・構造物工事現場を訪問予定です。

(6) 中部圏インフラ構想についての意見交換会

- ・開催日：令和7年12月10日(水)
- ・場 所：アレックスビル1階会議室
- ・内 容：整備構想の内容の理解、今後の活動等

(7) 対外活動

- 1) 意見交換会
中部地方整備局、愛知県、岐阜県、静岡県
- 2) 建設コンサルタントフェア 2025in 中部
・開催日：令和7年11月8日(土)
10:00~16:00
・場所：中日ビル地下イベント広場
・内 容：パネル説明
- 3) 建設技術フェア 2025in 中部
・開催日：令和7年12月4日(木)・5日(金)
・場所：ポートメッセなごや
・内容：建今ブース学生広場

発行情報・問い合わせ

発行：道路委員会

道路委員会では、投稿をお待ちしております。委員会活動に関するご意見、提案、図書のご紹介他、何でも結構ですので、原稿をお寄せください。

原稿送付先・担当：

藤岡亮文 (株)オリエンタルコンサルツ)

fujioka@oriconsul.com

中西哲也 (株)建設技術研究所)

t-nakanishi@ctie.co.jp

小林圭 (株)長大)

kobayashi-kei@chodai.co.jp

<関連ホームページ紹介>

建コン協ホームページ：

<https://www.jcca.or.jp/>

建コン協中部支部ホームページ

<https://www.ccainet.org/>